

塩津地区学校複合施設実施設計業務プロポーザル及び
西浦地区学校複合施設実施設計業務プロポーザルの審査結果報告書

令和4年8月10日
学校複合施設実施設計業務
プロポーザル方式業者選定委員会

令和4年4月28日（木）に公告した塩津地区学校複合施設実施設計業務プロポーザル及び西浦地区学校複合施設実施設計業務プロポーザルについて、審査結果を報告する。

1 審査結果

学校複合施設実施設計業務プロポーザル方式業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、一次選考及び二次選考において審査を厳正かつ公正に実施した結果、次の者を優先交渉権者に特定した。

【塩津地区】優先交渉権者：株式会社新居千秋都市建築設計

【西浦地区】優先交渉権者：有限会社ナスカ

2 優先交渉権者及び次点交渉権者特定までの経過

(1) プロポーザル方式による実施の決定

蒲郡市プロポーザル方式実施要綱第5条の規定に基づき、令和4年4月1日（金）に業務概要、プロポーザル方式を採用する理由等についてプロポーザル方式実施協議書により総務部長に協議し、令和4年4月4日（月）にプロポーザル方式による実施を可とする回答を受けた。

(2) 選定委員会の設置

蒲郡市プロポーザル方式実施要綱第6条に基づき、令和4年4月4日（月）に選定委員会を設置した。

(3) 塩津地区学校複合施設実施設計業務プロポーザル実施要領（以下「塩津地区実施要領」という。）等及び西浦地区学校複合施設実施設計業務プロポーザル実施要領（以下「西浦地区実施要領」という。）等の策定

令和4年4月19日（火）に開催した第1回選定委員会において、塩津地区実施要領等及び西浦地区実施要領等を策定した。

(4) 公告

令和4年4月28日（木）に公告した。蒲郡市役所の掲示板に掲示したほか、市ホームページに掲載した。

(5) 現場説明会

公告の日から令和4年5月11日（水）午後3時までの期間で受付を行い、塩津地区21者、西浦地区16者から説明会参加希望書が提出された。

塩津地区の現場説明会は、令和4年5月12日（木）午前10時から午前11時

までの時間で実施した。

西浦地区の現場説明会は、令和4年5月12日（木）午後2時から午後3時までの時間で実施した。

令和4年5月18日（水）に、塩津地区及び西浦地区の現場説明会での質疑応答の内容を市ホームページで公開した。

(6) プロポーザルに関する質問書の提出と回答

令和4年5月18日（水）から令和4年5月25日（水）午後3時までの期間で質問書の提出を受付け、塩津地区7者、西浦地区10者から質問書が提出された。

令和4年5月31日（火）に、質問に対する回答を市ホームページで公開した。

(7) 参加表明書の提出

令和4年5月26日（木）から令和4年6月3日（金）午後3時までの期間で受付を行い、塩津地区13者、西浦地区16者から参加表明書が提出された。

令和4年6月21日（火）、塩津地区1者、西浦地区1者から辞退届が提出された。

(8) 一次選考用図書の提出

令和4年6月15日（水）から令和4年6月23日（木）午後3時までの期間で受付を行い、塩津地区11者、西浦地区15者から一次選考用図書が提出された。

塩津地区は、1者が塩津地区実施要領の失格事項（蒲郡市入札参加資格者名簿への登録が、一次選考用図書の提出時に完了していない）に該当したため、失格となった。

(9) 一次選考の実施

令和4年7月2日（土）に開催した第2回選定委員会において、一次選考用図書を提出した塩津地区11者、西浦地区15者を対象に後述のとおり一次選考を行い、塩津地区5者、西浦地区5者を二次選考の対象者に決定した。

令和4年7月6日（水）に、一次選考の結果を、一次選考用図書を提出した全社にメールで通知した。

(10) 二次選考用図書の提出

令和4年7月25日（月）から令和4年7月29日（金）午後3時までの期間で受付を行い、塩津地区5者、西浦地区5者から二次選考用図書が提出された。

(11) 二次選考（プレゼンテーション）の実施

令和4年8月6日（土）に蒲郡市民会館中ホールにおいて、二次選考となるプレゼンテーションを公開で実施した。

午前9時20分から塩津地区5者のプレゼンテーションを実施した後、午後2時10分から西浦地区5者のプレゼンテーションを実施した。

傍聴者（両地区傍聴者有）は、塩津地区56人、西浦地区63人であった。

(12) 二次選考（最終審査）の実施と優先交渉権者、次点交渉権者の特定

令和4年8月10日(水)に開催した第3回選定委員会において、塩津地区5者、西浦地区5者を対象に後述のとおり二次選考(最終審査)を行い、塩津地区で優先交渉権者1者、次点交渉権者1者、西浦地区で優先交渉権者1者、次点交渉権者1者を特定した。

3 一次選考

一次選考は、第2回選定委員会(令和4年7月2日(土)蒲郡市役所新館6階議会応接室にて開催)において、一次選考に必要な技術提案書を対象に審査を行った。

塩津地区は、11者の技術提案書のうち、①会社概要と実績と②業務の執行体制(記名)、及び、③塩津地区の学校複合施設の設計コンセプトの考え方(匿名)について、①②と③が紐付かないように各選定委員が評価を行い、委員間で十分な意見交換を行った後、評価の高い上位5者を二次選考の対象者に決定した。なお、塩津地区の審査結果は、別紙1のとおりであった。

西浦地区は、15者の技術提案書のうち、①会社概要と実績と②業務の執行体制(記名)、及び、③西浦地区の学校複合施設の設計コンセプトの考え方(匿名)について、①②と③が紐付かないように各選定委員が評価を行い、委員間で十分な意見交換を行った後、評価の高い上位5者を二次選考の対象者に決定した。なお、西浦地区の審査結果は、別紙2のとおりであった。

4 二次選考

二次選考は、プレゼンテーション(令和4年8月6日(土)蒲郡市民会館中ホールにて実施)として、二次選考対象者(塩津地区5者、西浦地区5者)に20分間以内の説明と20分間程度の質疑応答を行った後、第3回選定委員会(令和4年8月10日(水)蒲郡市役所新館6階議会応接室にて開催)において、二次選考用図書を対象に審査を行った。

それぞれの地区における提案について、各選定委員が各案の評価すべき点、懸念される点などについて意見を述べた後、特定者を選考するための十分な議論を行った。その上で各委員が個別に評価を行い、評価点を第1位とした委員が最も多かった者を優先交渉権者、次に多かった者を次点交渉権者に特定することを委員全員の合意で決定した。なお、塩津地区と西浦地区の審査結果は別紙3のとおりであった。

5 審査講評

(1) 総評

本プロポーザルは、蒲郡市が令和3年8月に策定した「地区個別計画に基づく基本計画書(塩津地区)」と「地区個別計画に基づく基本計画書(西浦地区)」において示された学校や公民館などの機能を集合させる複合施設整備に係る実施設計業務を委託する、広範かつ高度な知識を有する設計者を特定すること

を目的として実施しました。特に、今回の事業はこれから続く蒲郡市の学校施設整備の端緒ともなることから、多様で柔軟な発想での優れた設計提案を求めするために、幅広い設計者が参加できるように設定し、実績より提案内容を高く評価する形でプロポーザルを実施しました。

設計対象である学校複合施設は、子育てしやすい最適な環境整備、学校と地域が「交流」する空間構築、将来に渡って長く使い続けられるサステイナブルな施設とすることが重要なテーマと捉え、これらを実現する施設整備を行う上で必要な技術提案を求めたところ、参加者それぞれが各テーマに真剣に向き合い、多様な教育環境の実現、地域とのコミュニティ促進、環境配慮の取組みなど意欲的な提案をいただくことができました。

設計者の選考に当たって、一次選考では、設計実績や取り組み姿勢をふまえ、設計コンセプトの考え方を重視して提案者5者を選定しました。二次選考では、課題に対する技術提案の内容を総合的に審査し、塩津地区、西浦地区共に優先交渉権者を特定しました。選考にあたる議論では、これまでの市民ワークショップ等で多くの地域の方々の意見を取り入れながら策定された基本計画の考え方をどの程度尊重しているか、また、基本計画を逸脱する部分をもつ優れた提案をどう評価すべきかが大きな論点となりました。また、これからの教育のあり方とそれに対応する空間の提案の内容、地域との共生をどのように実現しようとしているかと言った提案内容についても、慎重に議論が交わされました。その結果、いずれの事項についても評価が高く、多くの選定委員が推した設計者が優先交渉権者に特定されました。

優先交渉権者に特定された設計者には、施設運営者や使用者、地域の方などと協力し、今回の提案を磨き上げより洗練されたものとなるよう取り組んでいただきたいと思います。また、発注者には、選定された設計提案を尊重して頂きながらも、計画条件の見直しや学校や地域との協議等による提案の改良にも柔軟に取り組んで頂きたいと思えます。

本プロポーザルに参加し惜しくも選定されなかった方々におかれましては、技術提案書の作成等に多大なる時間と労力を費やしていただいたこと、塩津地区と西浦地区の学校複合施設の整備に真剣に向き合い、個性あふれる提案がなされたことに、選定委員会委員一同感謝の意を表します。

(2) 個別講評

【塩津地区】

優先交渉権者：株式会社新居千秋都市建築設計

塩津地区の学校複合施設の整備方法や管理運営方法等をまとめた「地区個別計画に基づく基本計画書（塩津地区）」で示されている棟の配置等を改良し、施設の機能連携強化やコストを圧縮する提案など、基本計画に沿う提案としつつ、課題や欠点を補う提案がなされている点が最も高く評価されました。

特に、敷地内の東西に2本の大きな「緑の並木道」を設けることで各施設へのアクセス性を良くする提案や、校舎北側のグラウンドと昇降口のレベルをあわせるとともに校舎に段々状のテラスを設けることでグラウンドへの採光確保と圧迫感軽減を図った点などが優れた提案として受け止められました。また、資材の高騰や労務費の上昇など最近の建築業界を取り巻く厳しい状況の中で進める本事業について、設計初期でのコスト圧縮重視やVE実施などによるコスト管理を徹底する提案が具体的に なされている点も評価されました。

一方で、提案の目玉でもある各施設を結ぶ「みんなのスロープ」や、小学校と保育園の間の段差のある空間について、運用を考慮した際の有効性から再検討を求める声もありました。

次点交渉権者：有限会社大建m e t

小学校の多様な授業形態を喚起するフレキシブルな学年ユニットの計画や個々のケアに合わせた特別支援教室の配置、校内が把握しやすい管理諸室計画など学校建築を良く理解した上での実現性の高い魅力的な提案をされている点が高く評価されました。

小学校と公民館の交流を促す空間としての「がましおモール」や、図書室と多目的室を連携させたミニ地域図書館、部屋の延長として使いやすいコンパクトな庭の設置など交流の仕掛けが各所に盛り込まれ、地域コミュニティの核となる施設として十分配慮された提案がなされています。

「子どもたちが自らつくるエコスクール」をコンセプトに、子どもたちが建物全体に配置された環境配慮技術に接したり、解体発生材を再利用する取組みに参加したりすることで、環境に対する意識を高め、環境対策に取り組む地域のリーダーを育む提案がなされている点も評価されました。学年ユニットについては、将来の転用までも考慮した計画が評価される反面、クラス数が減少していく中で各学年の孤立感が強くなるのではという懸念もありました。

提案者：株式会社環境デザイン研究所

交流を促す場所づくりとして、保存樹のクスノキを保育園・小学校・公民館のそれぞれ顔となる諸室が囲み、多世代が混じり合う「みんなの広場」が魅力的な提案として評価されました。

保育園の車での送迎について、周辺道路の渋滞解消や事故防止、送迎時間の短縮による保護者の心理的プラス効果を考えロータリー方式の駐車場が提案されており、車対策に十分配慮した考え方となっています。さらに、サーキュラーシティに対してもきわめて意欲的な提案であると評価されましたが、提案の根幹にある「みんなの広場」が、この施設の中心的な場所になり得るだろうかという懸念の声もありました。

提案者：株式会社シーラカンスアンドアソシエイツ

多様な活動をつなぎ、地域と共に成長する学びと生活の場を実現するために、交流の環、遊びの環、学びの環と名付けた3つの環が提唱されており、教育面のことを良く理解した内容の提案がなされている点が高く評価されました。

塩津地区の歴史・文化を継承する「塩田の道」や学校を気兼ねなく使える環境づくりを目的に特別教室などの名称を変更するなど、地域交流を促す独創性のある提案がなされています。

最も基本計画案を尊重した提案でしたが、各施設の隣棟間隔など基本計画の難点を克服する提案にまでなっていないのではという評価もありました。

提案者：株式会社大藪元宏建築研究所

屋根の形状を三河湾に浮かぶヨットをイメージした勾配屋根とし、周辺市街地や山並みと調和する佇まいとする提案が魅力的であるとの評価を得ました。

教室や保育室、交流スペースなど単調とまらない空間デザインが考えられており、子どもたちや地域の方が楽しく過ごせる環境づくりが提案されていますが、サーキュラーシティに対する提案があまり見られないなど、求めている課題への理解度について懸念の声がありました。

【西浦地区】

優先交渉権者：有限会社ナスカ

幅広く西浦地域を見据えてこの施設のあるべき姿を追求する姿勢、森や自然を多世代の教室とする「森が学校計画」、建設コストに配慮しながら校舎の多くを木造化するなど、基本計画を尊重しながら発展的により良くする提案内容が極めて高く評価されました。

特に、西門からグラウンドを結ぶ「海と森をつなぐ軸」に沿った広場側に公民館の入口と学校の昇降口を設け、交流に資するスペースが広場に面して配置され、地域と学校が融合する提案となっている点や、敷地全体にわたって既存の自然や地域資源を活用した広場や森を展開し、あるものすべてを学びの場として活かしていこうとする提案内容に共感しました。

また、図書室を地域のためのメディアセンターとして提案されている点も評価されましたが、学校図書室との連動を空間的にも運営としてもどのように実現するかについて、学校や地域との議論をふまえ、より深い検討がなされることが期待されます。

次点交渉権者：FULL POWER STUDIO株式会社

校舎棟と体育館棟を平面的にも立体的にも一体化することにより、教室回りの交流空間の確保や、構造・屋根形状を融合されたひとつの建物とするなど空間の融合性が魅力的に考えられた検討の熟度が高い提案であることが高く評価されました。

教育環境については、普通教室とワークスペースの使い方や1、2階を見渡せるラーニングcommonsなど魅力的な提案がなされています。

施設入口において学校の子どもたちと地域の人たちが一緒となっており、複合施設は動線が混ざっても良いというコンセプトに独創性が感じられました。学校と公民館の繋がりについて、相互の施設利用を運用面、セキュリティ面からきめ細かく検討・提案しており、複合化を考える際に今後目指していきたいと思わせる提案がなされています。一方で、基本計画で策定された施設構成やゾーニングとは異なる考え方が受け入れられるか疑問視する声もありました。

提案者：株式会社シーラクスアンドアソシエイツ

普通教室・特別支援教室のワンフロア回廊形式の配列や教室まわりへのギャラリーユニットの設置など、きめ細やかな教育環境に関する提案が高く評価されました。

「学びのまち市場」をコンセプトに、施設全体の1階が交流の場となる環境づくり、学校と地域住民双方に適した動線計画、大人が目が行き届く段階的なセキュリティ計画など、地域と共に成長していく学校づくりに対して、豊富な経験に裏付けられた提案に説得力がありました。

提案者：株式会社大建設計名古屋事務所

基本計画に沿った提案が適切にされており、小中学校・公民館・児童クラブが集まる学びの港、ラーニングcommonsを中心とした地域交流、環境への配慮としてサーキュラーエコノミーなどが具体的に提案されている点が評価されました。

地域の木材資源を活用し、木質化された心地よい学習生活環境の実現や西浦の街並みと調和のとれた木の温かみを感じる交流の場の設置など、木材を上手く使う提案が魅力的でした。

提案者：株式会社濱田慎太建築事務所

既存の動線とつなげたニシウラストリートとそこに隣接した多目的に活用できるニシウラホールを設置する提案は、郊外である西浦地域に必要な新たな地域コミュニティの拠点施設として魅力的な提案でした。

工期を短縮し、工事コストを抑制する考えが具体的に示され、将来の可変性や更新性にも配慮した構造計画の考え方が提案されている点も評

価されましたが、サーキュラーシティに対する提案が見られないなどの課題がありました。

学校複合施設実施設計業務プロポーザル方式業者選定委員会

委員長 恒川和久

副委員長 小松 尚

委員 安井秀夫

委員 笠井 尚

委員 大原義文

委員 壁谷幹朗

委員 平野敦義

別紙 1

塩津地区 一次選考審査結果

順位	提案者名	獲得評価				
		評価順位 第1位 採点者数	評価順位 第2位 採点者数	評価順位 第3位 採点者数	評価順位 第4位 採点者数	評価順位 第5位 採点者数
1	株式会社新居千秋 都市建築設計	4	1		2	
2	株式会社シーラカンス アンドアソシエイツ	2		1		2
3	有限会社大建m e t	1	3	1		2
4	株式会社環境デザイン 研究所		3	4		
5	株式会社大藪元宏 建築研究所		1		2	1
6	設計業者塩津 6			1	2	1
7	設計業者塩津 7					3
8	設計業者塩津 8					1
9	設計業者塩津 9					
	設計業者塩津 10					
	設計業者塩津 11					

(注) 各委員の評価において同じ評価順位が複数ある場合がある。

別紙 2

西浦地区 一次選考審査結果

順位	提案者名	獲得評価				
		評価順位 第1位 採点者数	評価順位 第2位 採点者数	評価順位 第3位 採点者数	評価順位 第4位 採点者数	評価順位 第5位 採点者数
1	株式会社シーラカン アンドアソシエイツ	5		1		
2	有限会社ナスカ	5				
3	FULL POWER STUDIO 株式会社		3		4	
4	株式会社濱田慎太 建築事務所		1	1	1	1
5	株式会社大建設 名古屋事務所			5	1	
6	設計業者西浦 6				2	
7	設計業者西浦 7					2
	設計業者西浦 8					2
9	設計業者西浦 9					1
	設計業者西浦 10					1
11	設計業者西浦 11					
	設計業者西浦 12					
	設計業者西浦 13					
	設計業者西浦 14					
	設計業者西浦 15					

(注) 各委員の評価において同じ評価順位が複数ある場合がある

別紙 3

塩津地区 二次選考審査結果

順位	提案者名	獲得評価				
		評価順位 第1位 採点者数	評価順位 第2位 採点者数	評価順位 第3位 採点者数	評価順位 第4位 採点者数	評価順位 第5位 採点者数
1	株式会社新居千秋 都市建築設計	4	2	1		
2	有限会社大建met	3	2	1	1	
3	株式会社環境デザイン 研究所		2	1	4	
4	株式会社シーラカンス アンドアソシエイツ		1	4	2	
5	株式会社大藪元宏 建築研究所					7

西浦地区 二次選考審査結果

順位	提案者名	獲得評価				
		評価順位 第1位 採点者数	評価順位 第2位 採点者数	評価順位 第3位 採点者数	評価順位 第4位 採点者数	評価順位 第5位 採点者数
1	有限会社ナスカ	5	1		1	
2	FULL POWER STUDIO 株式会社	1	5	1		
3	株式会社シーラカンス アンドアソシエイツ	1		3	3	
4	株式会社大建設 名古屋事務所		1	2	2	2
5	株式会社濱田慎太 建築事務所			1	1	5